

令和5年度第3学年前期「遺伝学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
40	4	10%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4 (100%)	0	0	0	0	5.0

III. オンデマンド授業について

13 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

全くなかった 4名

14 問13で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

配信されたオンデマンド動画が90分を超えていた 1名

何度も聞き直す必要があった 1名

令和5年度第3学年前期「看護研究法」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
81	13	16%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	7 (54%)	6 (46%)	0	0	0	4.5
2 授業内容は理解できるものであった。	1 (8%)	4 (31%)	5 (38%)	2 (15%)	1 (8%)	3.2
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	2 (15%)	3 (23%)	4 (31%)	3 (23%)	1 (8%)	3.2
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	2 (15%)	7 (54%)	2 (15%)	1 (8%)	1 (8%)	3.6
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	3 (23%)	6 (46%)	3 (23%)	0	1 (8%)	3.8
6 授業内容は満足のできるものであった。	2 (15%)	8 (62%)	2 (15%)	0	1 (8%)	3.8

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	6 (46%)	5 (38%)	1 (8%)	0	1 (8%)	4.2
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	2 (15%)	10 (77%)	0	0	1 (8%)	3.9
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4 (31%)	6 (46%)	2 (15%)	0	1 (8%)	3.9
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4 (31%)	4 (31%)	2 (15%)	2 (15%)	1 (8%)	3.6
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5 (38%)	7 (54%)	0	0	1 (8%)	4.2
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4 (31%)	8 (62%)	0	0	1 (8%)	4.1

III. オンデマンド授業について

13 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

ときどきあった 1名
全くなかった 9名

14 問13で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

何度も聞き直す必要があった 1名

IV. ライブ型 (Zoom) 授業について

15 ライブ型 (Zoom) 授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

ときどきあった 2名
ほとんどなかった 3名
全くなかった 8名

16 問15で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

グループワークが時間内に終わらなかったとき 1名

令和5年度第3学年前期「成人看護学援助論Ⅰ(慢性期・緩和ケア)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
78	11	14%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	9 (82%)	2 (18%)	0	0	0	4.8
2 授業内容は理解できるものであった。	5 (45%)	6 (55%)	0	0	0	4.5
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	6 (55%)	5 (45%)	0	0	0	4.5
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	7 (64%)	4 (36%)	0	0	0	4.6
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	7 (64%)	4 (36%)	0	0	0	4.6
6 授業内容は満足のできるものであった。	6 (55%)	5 (45%)	0	0	0	4.5

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	8 (73%)	3 (27%)	0	0	0	4.7
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	6 (55%)	5 (45%)	0	0	0	4.5
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	6 (55%)	5 (45%)	0	0	0	4.5
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	7 (64%)	4 (36%)	0	0	0	4.6
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	7 (64%)	4 (36%)	0	0	0	4.6
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	6 (55%)	5 (45%)	0	0	0	4.5

III. オンデマンド授業について

13 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

ほとんどなかった 2名

全くなかった 8名

14 問13で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

何度も聴き直す必要があった 1名

IV. ライブ型 (Zoom) 授業について

15 ライブ型 (Zoom) 授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

ときどきあった 2名

ほとんどなかった 3名

全くなかった 6名

16 問15で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

学生および教員の反応が遅く、確認が必要だった 2名

通信が途切れた 1名

令和5年度3学年前期「成人看護学援助論Ⅱ(急性期)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
78	20	26%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	19 (95%)	1 (5%)	0	0	0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	16 (80%)	4 (20%)	0	0	0	4.8
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	14 (70%)	6 (30%)	0	0	0	4.7
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	16 (80%)	4 (20%)	0	0	0	4.8
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	17 (85%)	3 (15%)	0	0	0	4.9
6 授業内容は満足のできるものであった。	15 (75%)	5 (25%)	0	0	0	4.8

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	14 (70%)	6 (30%)	0	0	0	4.7
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	14 (70%)	5 (25%)	1 (5%)	0	0	4.7
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	14 (70%)	4 (20%)	2 (10%)	0	0	4.6
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	15 (75%)	5 (25%)	0	0	0	4.8
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	13 (65%)	7 (35%)	0	0	0	4.7
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	15 (75%)	4 (20%)	1 (5%)	0	0	4.7

III. オンデマンド授業について

13 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

全くなかった 16名

14 問13で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

IV. ライブ型 (Zoom) 授業について

15 ライブ型 (Zoom) 授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

ときどきあった 1名

ほとんどなかった 5名

全くなかった 14名

16 問15で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

授業開始が遅れた 2名

令和5年度第3学年前期「老年看護学援助論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
78	18	23%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	13 (72%)	5 (28%)	0	0	0	4.7
2 授業内容は理解できるものであった。	8 (44%)	6 (33%)	2 (11%)	2 (11%)	0	4.1
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	10 (56%)	6 (33%)	2 (11%)	0	0	4.4
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	9 (50%)	8 (44%)	1 (6%)	0	0	4.4
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	10 (56%)	6 (33%)	2 (11%)	0	0	4.4
6 授業内容は満足のできるものであった。	10 (56%)	5 (28%)	3 (17%)	0	0	4.4

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	14 (78%)	2 (11%)	2 (11%)	0	0	4.7
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	9 (50%)	5 (28%)	2 (11%)	2 (11%)	0	4.2
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	7 (39%)	8 (44%)	2 (11%)	1 (6%)	0	4.2
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	13 (72%)	4 (22%)	1 (6%)	0	0	4.7
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	13 (72%)	2 (11%)	3 (17%)	0	0	4.6
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	11 (61%)	6 (33%)	1 (6%)	0	0	4.6

令和5年度第3学年前期「こども看護学援助論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
78	9	12%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	8 (89%)	1 (11%)	0	0	0	4.9
2 授業内容は理解できるものであった。	4 (44%)	5 (56%)	0	0	0	4.4
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	7 (78%)	2 (22%)	0	0	0	4.8
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	6 (67%)	3 (33%)	0	0	0	4.7
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	7 (78%)	2 (22%)	0	0	0	4.8
6 授業内容は満足のできるものであった。	7 (78%)	2 (22%)	0	0	0	4.8

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	6 (67%)	3 (33%)	0	0	0	4.7
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5 (56%)	4 (44%)	0	0	0	4.6
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	6 (67%)	3 (33%)	0	0	0	4.7
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5 (56%)	4 (44%)	0	0	0	4.6
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4 (44%)	3 (33%)	2 (22%)	0	0	4.2
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5 (56%)	4 (44%)	0	0	0	4.6

III. オンデマンド授業について

13 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

全くなかった 8名

14 問13で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

IV. ライブ型 (Zoom) 授業について

15 ライブ型 (Zoom) 授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

ほとんどなかった 2名

全くなかった 7名

16 問15で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

令和5年度第3学年前期「母性看護学援助論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
78	29	37%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	27 (93%)	2 (7%)	0	0	0	4.9
2 授業内容は理解できるものであった。	26 (90%)	3 (10%)	0	0	0	4.9
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	27 (93%)	2 (7%)	0	0	0	4.9
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	25 (86%)	4 (14%)	0	0	0	4.9
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	27 (93%)	2 (7%)	0	0	0	4.9
6 授業内容は満足のできるものであった。	28 (97%)	1 (3%)	0	0	0	5.0

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	27 (93%)	2 (7%)	0	0	0	4.9
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	27 (93%)	1 (3%)	1 (3%)	0	0	4.9
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	26 (90%)	3 (10%)	0	0	0	4.9
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	27 (93%)	2 (7%)	0	0	0	4.9
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	28 (97%)	1 (3%)	0	0	0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	27 (93%)	2 (7%)	0	0	0	4.9

令和5年度第3学年前期「精神看護学援助論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
81	31	38%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	25 (81%)	6 (19%)	0	0	0	4.8
2 授業内容は理解できるものであった。	21 (68%)	9 (29%)	1 (3%)	0	0	4.6
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	25 (81%)	6 (19%)	0	0	0	4.8
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	19 (61%)	10 (32%)	2 (6%)	0	0	4.5
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	22 (71%)	9 (29%)	0	0	0	4.7
6 授業内容は満足のできるものであった。	23 (74%)	7 (23%)	1 (3%)	0	0	4.7

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	21 (68%)	8 (26%)	1 (3%)	1 (3%)	0	4.6
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	19 (61%)	12 (39%)	0	0	0	4.6
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	19 (61%)	9 (29%)	2 (6%)	1 (3%)	0	4.5
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	23 (74%)	7 (23%)	1 (3%)	0	0	4.7
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	26 (84%)	5 (16%)	0	0	0	4.8
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	24 (77%)	7 (23%)	0	0	0	4.8

III. オンデマンド授業について

13 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

ほとんどなかった 3名

全くなかった 14名

14 問13で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

配信されたオンデマンド動画が90分を超えていた 1名

何度も聞き直す必要があった 1名

令和5年度第3学年前期「保健統計学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
47	6	13%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	5 (83%)	0	0	0	1 (17%)	4.3
2 授業内容は理解できるものであった。	4 (67%)	1 (17%)	0	0	1 (17%)	4.2
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5 (83%)	0	0	0	1 (17%)	4.3
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	5 (83%)	0	0	0	1 (17%)	4.3
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5 (83%)	0	0	0	1 (17%)	4.3
6 授業内容は満足のできるものであった。	5 (83%)	0	0	0	1 (17%)	4.3

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	5 (83%)	0	0	0	1 (17%)	4.3
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5 (83%)	0	0	0	1 (17%)	4.3
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5 (83%)	0	0	0	1 (17%)	4.3
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5 (83%)	0	0	0	1 (17%)	4.3
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5 (83%)	0	0	0	1 (17%)	4.3
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5 (83%)	0	0	0	1 (17%)	4.3

III. オンデマンド授業について

13 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

ほとんどなかった 3名

全くなかった 14名

14 問13で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

配信されたオンデマンド動画が90分を超えていた 1名

何度も聴き直す必要があった 1名

令和5年度第3学年前期「家族看護論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
78	25	32%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	18 (72%)	7 (28%)	0	0	0	4.7
2 授業内容は理解できるものであった。	18 (72%)	7 (28%)	0	0	0	4.7
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	19 (76%)	6 (24%)	0	0	0	4.8
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	14 (56%)	10 (40%)	1 (4%)	0	0	4.5
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	17 (68%)	7 (28%)	1 (4%)	0	0	4.6
6 授業内容は満足のできるものであった。	16 (64%)	7 (28%)	2 (8%)	0	0	4.6

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	19 (76%)	5 (20%)	1 (4%)	0	0	4.7
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	17 (68%)	7 (28%)	1 (4%)	0	0	4.6
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	17 (68%)	8 (32%)	0	0	0	4.7
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	20 (80%)	4 (16%)	1 (4%)	0	0	4.8
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	16 (64%)	8 (32%)	1 (4%)	0	0	4.6
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	18 (72%)	5 (20%)	1 (4%)	1 (4%)	0	4.6

III. オンデマンド授業について

13 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

ほとんどなかった 3名

全くなかった 14名

14 問13で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

配信されたオンデマンド動画が90分を超えていた 1名

何度も聴き直す必要があった 1名

令和5年度第3学年前期「公衆衛生看護学概論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
77	4	5%

実施日：最終授業日から3日間

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
2 授業内容は理解できるものであった。	2 (50%)	2 (50%)	0	0	0	4.5
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	2 (50%)	2 (50%)	0	0	0	4.5
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
6 授業内容は満足のできるものであった。	1 (25%)	3 (75%)	0	0	0	4.3

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	2 (50%)	2 (50%)	0	0	0	4.5
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	1 (25%)	3 (75%)	0	0	0	4.3
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	2 (50%)	1 (25%)	1 (25%)	0	0	4.3
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	2 (50%)	2 (50%)	0	0	0	4.5
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	2 (50%)	2 (50%)	0	0	0	4.5

III. オンデマンド授業について

13 オンデマンド授業の時間が90分を超えた「頻度」を教えてください。

ほとんどなかった 3名

全くなかった 14名

14 問13で授業時間が90分を超えた「理由」を選んでください。(複数回答可)

配信されたオンデマンド動画が90分を超えていた 1名

何度も聴き直す必要があった 1名

5. そう思う
 4. だいたいそう思う
 3. どちらともいえない
 2. あまり思わない
 1. 全く思わない

科目名	成人看護学実習 I (慢性的な健康問題)		
回答者数	24 名		
履修者数	87 名	回答率	28%

I. 実習内容

	5	4	3	2	1	平均
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	21 (88%)	3 (13%)	0	0	0	4.9
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	22 (92%)	2 (8%)	0	0	0	4.9
3 実習内容は満足のできるものであった。	19 (79%)	5 (21%)	0	0	0	4.8

II. 実習方法

	5	4	3	2	1	平均
4 実習要項に沿って実習が進められた。	21 (88%)	3 (13%)	0	0	0	4.9
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	21 (88%)	3 (13%)	0	0	0	4.9
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	22 (92%)	2 (8%)	0	0	0	4.9
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	22 (92%)	2 (8%)	0	0	0	4.9
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	22 (92%)	2 (8%)	0	0	0	4.9
9 教員と実習施設の連携が図られていた。	21 (88%)	2 (8%)	1 (4%)	0	0	4.8

III. 実習施設

	5	4	3	2	1	平均
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	19 (79%)	3 (13%)	2 (8%)	0	0	4.7
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	20 (83%)	3 (13%)	1 (4%)	0	0	4.8
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	19 (79%)	4 (17%)	1 (4%)	0	0	4.8
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	19 (79%)	4 (17%)	1 (4%)	0	0	4.8

5. そう思う
 4. だいたいそう思う
 3. どちらともいえない
 2. あまり思わない
 1. 全く思わない

科目名	成人看護学実習Ⅱ（周手術期）	
回答者数	27名	
履修者数	86名	回答率 31%

I. 実習内容

	5	4	3	2	1	平均
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	21 (78%)	6 (22%)	0	0	0	4.8
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	21 (78%)	5 (19%)	1 (4%)	0	0	4.7
3 実習内容は満足のできるものであった。	21 (78%)	6 (22%)	0	0	0	4.8

II. 実習方法

	5	4	3	2	1	平均
4 実習要項に沿って実習が進められた。	21 (78%)	6 (22%)	0	0	0	4.8
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	23 (85%)	4 (15%)	0	0	0	4.9
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	22 (81%)	4 (15%)	1 (4%)	0	0	4.8
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	21 (78%)	4 (15%)	2 (7%)	0	0	4.7
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	22 (81%)	3 (11%)	2 (7%)	0	0	4.7
9 教員と実習施設の連携が図られていた。	19 (70%)	7 (26%)	0	1 (4%)	0	4.6

III. 実習施設

	5	4	3	2	1	平均
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	24 (89%)	3 (11%)	0	0	0	4.9
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	23 (85%)	3 (11%)	1 (4%)	0	0	4.8
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	25 (93%)	1 (4%)	1 (4%)	0	0	4.9
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	25 (93%)	2 (7%)	0	0	0	4.9

5. そう思う
 4. だいたいそう思う
 3. どちらともいえない
 2. あまり思わない
 1. 全く思わない

科目名	老年看護学実習		
回答者数	16名		
履修者数	85名	回答率	19%

I. 実習内容

	5	4	3	2	1	平均
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	13 (81%)	3 (19%)	0	0	0	4.8
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	13 (81%)	3 (19%)	0	0	0	4.8
3 実習内容は満足のできるものであった。	12 (75%)	4 (25%)	0	0	0	4.8

II. 実習方法

	5	4	3	2	1	平均
4 実習要項に沿って実習が進められた。	12 (75%)	4 (25%)	0	0	0	4.8
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	13 (81%)	3 (19%)	0	0	0	4.8
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	11 (69%)	5 (31%)	0	0	0	4.7
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	12 (75%)	4 (25%)	0	0	0	4.8
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	11 (69%)	5 (31%)	0	0	0	4.7
9 教員と実習施設の連携が図られていた。	10 (63%)	6 (38%)	0	0	0	4.6

III. 実習施設

	5	4	3	2	1	平均
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	11 (69%)	3 (19%)	2 (13%)	0	0	4.6
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	12 (75%)	3 (19%)	1 (6%)	0	0	4.7
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	13 (81%)	3 (19%)	0	0	0	4.8
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	14 (88%)	2 (13%)	0	0	0	4.9

5. そう思う
 4. だいたいそう思う
 3. どちらともいえない
 2. あまり思わない
 1. 全く思わない

科目名	こども看護学実習	
回答者数	9名	
履修者数	83名	回答率 11%

I. 実習内容

	5	4	3	2	1	平均
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	7 (78%)	2 (22%)	0	0	0	4.8
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4 (44%)	4 (44%)	1 (11%)	0	0	4.3
3 実習内容は満足のできるものであった。	4 (44%)	3 (33%)	1 (11%)	1 (11%)	0	4.1

II. 実習方法

	5	4	3	2	1	平均
4 実習要項に沿って実習が進められた。	6 (67%)	3 (33%)	0	0	0	4.7
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	4 (44%)	4 (44%)	1 (11%)	0	0	4.3
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	5 (56%)	3 (33%)	1 (11%)	0	0	4.4
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5 (56%)	4 (44%)	0	0	0	4.6
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	4 (44%)	5 (56%)	0	0	0	4.4
9 教員と実習施設の連携が図られていた。	4 (44%)	5 (56%)	0	0	0	4.4

III. 実習施設

	5	4	3	2	1	平均
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	7 (78%)	2 (22%)	0	0	0	4.8
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	5 (56%)	4 (44%)	0	0	0	4.6
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	6 (67%)	3 (33%)	0	0	0	4.7
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	7 (78%)	2 (22%)	0	0	0	4.8

5. そう思う
 4. だいたいそう思う
 3. どちらともいえない
 2. あまり思わない
 1. 全く思わない

科目名	母性看護学実習		
回答者数	6名		
履修者数	82名	回答率	7%

I. 実習内容

	5	4	3	2	1	平均
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	6 (100%)	0	0	0	0	5.0
3 実習内容は満足のできるものであった。	6 (100%)	0	0	0	0	5.0

II. 実習方法

	5	4	3	2	1	平均
4 実習要項に沿って実習が進められた。	6 (100%)	0	0	0	0	5.0
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	6 (100%)	0	0	0	0	5.0
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	6 (100%)	0	0	0	0	5.0
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	6 (100%)	0	0	0	0	5.0
9 教員と実習施設の連携が図られていた。	4 (67%)	1 (17%)	0	1 (17%)	0	4.3

III. 実習施設

	5	4	3	2	1	平均
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	5 (83%)	0	1 (17%)	0	0	4.7
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	6 (100%)	0	0	0	0	5.0
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	6 (100%)	0	0	0	0	5.0

5. そう思う
 4. だいたいそう思う
 3. どちらともいえない
 2. あまり思わない
 1. 全く思わない

科目名	母性看護学実習 (OD・OL併用)				
回答者数	17 名				
履修者数	82 名	回答率	21%		

I. 実習内容

	5	4	3	2	1	平均
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	13 (76%)	4 (24%)	0	0	0	4.8
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	15 (88%)	2 (12%)	0	0	0	4.9
3 実習内容は満足のできるものであった。	13 (76%)	3 (18%)	1 (6%)	0	0	4.7

II. 実習方法

	5	4	3	2	1	平均
4 実習要項に沿って実習が進められた。	16 (94%)	1 (6%)	0	0	0	4.9
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	14 (82%)	2 (12%)	1 (6%)	0	0	4.8
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	12 (71%)	5 (29%)	0	0	0	4.7
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	13 (76%)	2 (12%)	0	2 (12%)	0	4.5
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	12 (71%)	4 (24%)	0	1 (6%)	0	4.6
9 教員と実習施設の連携が図られていた。	13 (76%)	4 (24%)	0	0	0	4.8

III. 実習施設

	5	4	3	2	1	平均
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	13 (76%)	4 (24%)	0	0	0	4.8
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	12 (71%)	5 (29%)	0	0	0	4.7
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	15 (88%)	2 (12%)	0	0	0	4.9
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	15 (88%)	2 (12%)	0	0	0	4.9

IV. 学内シミュレーションについて

	5	4	3	2	1	平均
14 教員は「学内シミュレーション」の円滑な進行に配慮していた	9 (53%)	3 (18%)	5 (29%)	0	0	4.2

V. オンライン (zoomなど) の活用について

	5	4	3	2	1	平均
16 教員は「オンライン (Zoomなど)」の円滑な進行に配慮していた	9 (69%)	3 (23%)	1 (8%)	0	0	4.6
17 実習指導者からの「オンライン (Zoomなど)」による指導は学習を進めるうえで役立った	10 (77%)	2 (15%)	1 (8%)	0	0	4.7

VI. 「e自主自学」の活用について

	5	4	3	2	1	平均
19 「e自主自学」は、学生に分かりやすく適切に活用されていた	12 (75%)	4 (25%)	0	0	0	4.8

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	精神看護学実習		
回答者数	7名		
履修者数	81名	回答率	9%

I. 実習内容

	5	4	3	2	1	平均
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	5 (71%)	2 (29%)	0	0	0	4.7
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	6 (86%)	1 (14%)	0	0	0	4.9
3 実習内容は満足のできるものであった。	6 (86%)	1 (14%)	0	0	0	4.9

II. 実習方法

	5	4	3	2	1	平均
4 実習要項に沿って実習が進められた。	4 (57%)	3 (43%)	0	0	0	4.6
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	6 (86%)	0	1 (14%)	0	0	4.7
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	5 (71%)	2 (29%)	0	0	0	4.7
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	6 (86%)	1 (14%)	0	0	0	4.9
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	5 (71%)	2 (29%)	0	0	0	4.7
9 教員と実習施設の連携が図られていた。	4 (57%)	3 (43%)	0	0	0	4.6

III. 実習施設

	5	4	3	2	1	平均
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	6 (86%)	0	1 (14%)	0	0	4.7
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	5 (71%)	1 (14%)	0	1 (14%)	0	4.4
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	5 (71%)	2 (29%)	0	0	0	4.7
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	6 (86%)	0	1 (14%)	0	0	4.7

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	包括ケア実習				
回答者数	7名				
履修者数	78名	回答率	9%		

I. 実習内容

	5	4	3	2	1	平均
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	7 (100%)	0	0	0	0	5.0
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4 (57%)	3 (43%)	0	0	0	4.6
3 実習内容は満足のできるものであった。	6 (86%)	1 (14%)	0	0	0	4.9

II. 実習方法

	5	4	3	2	1	平均
4 実習要項に沿って実習が進められた。	6 (86%)	1 (14%)	0	0	0	4.9
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	6 (86%)	1 (14%)	0	0	0	4.9
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	6 (86%)	0	1 (14%)	0	0	4.7
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	7 (100%)	0	0	0	0	5.0
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	7 (100%)	0	0	0	0	5.0
9 教員と実習施設の連携が図られていた。	5 (71%)	0	2 (29%)	0	0	4.4

III. 実習施設

	5	4	3	2	1	平均
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	6 (86%)	1 (14%)	0	0	0	4.9
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	3 (43%)	4 (57%)	0	0	0	4.4
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	7 (100%)	0	0	0	0	5.0
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	7 (100%)	0	0	0	0	5.0

IV. 学内シミュレーションについて

	5	4	3	2	1	平均
14 教員は「学内シミュレーション」の円滑な進捗に配慮していた	3 (43%)	3 (43%)	0	1 (14%)	0	4.1

V. オンライン（zoomなど）の活用について

	5	4	3	2	1	平均
16 教員は「オンライン（Zoomなど）」の円滑な進捗に配慮していた	3 (75%)	0	0	0	1 (25%)	4.0
17 実習指導者からの「オンライン（Zoomなど）」による指導は学習を進めるうえで役立った	3 (75%)	0	1 (25%)	0	0	4.5

VI. 「e自主自学」の活用について

	5	4	3	2	1	平均
19 「e自主自学」は、学生に分かりやすく適切に活用されていた	2 (29%)	5 (71%)	0	0	0	4.8

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	在宅看護援助論Ⅱ（事例展開）				
回答者数	4名				
履修者数	78名			回答率	5%

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	1 (25%)	2 (50%)	1 (25%)	0	0	4.0
2 授業内容は理解できるものであった。	0	2 (50%)	0	2 (50%)	0	3.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	0	2 (50%)	1 (25%)	1 (25%)	0	3.2
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	1 (25%)	1 (25%)	2 (50%)	0	0	3.8
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	0	2 (50%)	1 (25%)	1 (25%)	0	3.2
6 授業内容は満足のできるものであった。	0	1 (25%)	1 (25%)	1 (25%)	1 (25%)	2.5

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	1 (25%)	1 (25%)	2 (50%)	0	0	3.8
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	0	2 (50%)	0	2 (50%)	0	3.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	1 (25%)	1 (25%)	0	2 (50%)	0	3.2
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	1 (25%)	1 (25%)	0	2 (50%)	0	3.2
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	1 (25%)	1 (25%)	1 (25%)	1 (25%)	0	3.5
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	1 (25%)	0	1 (25%)	1 (25%)	1 (25%)	2.8

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	公衆衛生看護活動論					
回答者数	2 名					
履修者数	35 名			回答率	6%	

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
6 授業内容は満足のできるものであった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	2 (100%)	0	0	0	0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	1 (50%)	1 (50%)	0	0	0	4.5

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ（基礎）					
回答者数	1名					
履修者数	20名			回答率	5%	

I. 授業内容について

	5	4	3	2	1	平均
1 シラバスに沿って、授業が進められた。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0

II. 授業方法について

	5	4	3	2	1	平均
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
8 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	1 (100%)	0	0	0	0	5.0